広報まき

1970年11月15日
第 111 号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表(2)3131
編集　商工観光課
印刷所　北洋印刷株式会社

住民基本台帳人口
（昭和45年10月31日現在）
総人口　27,457人
男　13,313人　女　14,144人
世帯数　6,095

11月14日

町、功労者を表彰

おめでとう二団体、四十三人

郷土研究の史学会や産業振興の坂田さんら

町では、十一月十四日信用組合ホールで、ほ賞条例にもとずく昭和四十五年度表彰式を行ないました。

席上、二団体、四十三人が江端町長から喜びの表彰を受けました。当日表彰を受けられた方々は次のとおりです。（敬称略）

◇社会福祉

耀経会（会長本間郡一）

――昭和四十一年一月創設会員百人。郷土民謡の保存と普及に深い理解をもち、多年老人クラブなどの慰問を行ない、また、民謡の振興に尽した。――

◇郷土研究

巻町史学会（会長斎藤順作）

――昭和二十七年ころから巻町の歴史的研究に全員一致で資料の調査と収集に尽されて、その名は広く知られている。――

◇理科教育

長島義介（五区）

――漆山中学校教諭時代、同校生物クラブを指導「鑑潟におけるイラガの研究」で日本学生科学賞など数多く受賞。また、双書「鑑潟の水生植物」の発刊に尽力。――

◇技術振興

花岡忠雄（六区）

――町の発明家で知られている。「地下電気ケーブルのマンホール通貫口防水工法」を発明した。――

◇美術（絵画）

池田寅蔵（五区）

――二科展に入選。巻町パレットクラブ（油絵）の指導にあたり、美術の振興に尽力。――

◇美術（写真）

斎藤文夫（福井）

――多年、記録写真に深い理解をもち、双書写真集「角海浜」の発刊に尽力――

◇文化財保護

上原甲子郎（新潟市）

――文化財に深い理解をもち、多年巻町の文化財保護に貢献――

◇民謡普及

長沼ハル（東六区）

――町社会教育指導員（民謡）および婦人会民謡教室のリーダーとして民謡の指導にあたり、昭和四十四年「ささ波会」を結成。広く一般町民に民謡の指導にあたっている。――

◇産業振興

坂田真（六区）

――北越農事の創設（大正十四年）に努力し、以来農産種苗の生産および販売、農薬、農機具、農産物（加工を含む）売買など事業発展に寄与するとともに地域産業の振興に尽力。――

◇文化財保護

叙勲受章の笠原さんらも

◇教育功労

笠原俊弐（一区）

――教育功労で昭和四十五年春、勲五等旭日章を受章――

◇看護功労

野沢謙吾（十三区）

――永年、新潟精神病院看護主長として看護業務に功績を残され、昭和四十五年秋、勲七等青色桐葉章を受章――

◇自治振興

中野二太郎（八区）

――消防功労で昭和四十四年春、勲六等瑞宝章を受章――

小杉伝治（十一区）

――消防功労で昭和四十四年秋、勲六等瑞宝章を受章――

永野三四郎（八区）

――消防功労で昭和四十五年春、勲七等旭日章を受章――

筒井徳治（九区）

――消防功労で昭和四十五年秋、勲七等瑞宝章を受章――

◇永年勤続

一区坂上善春（KK日進）、一区松井和子（巻町農業協同組合）、一区桑原富士夫（KK小都治商店）、二区桑原昭一、堀山団地星井五郎、東六区嶋岡二郎（以上北洋印刷KK）、十区橋本清松（巻物産KK）、五区本間徳次郎（古寺新聞店）、東六区高井巴（ウルシヤマ金属KK）八区山本博勝（北越農事KK）、八区五十嵐昭三、九区小林正雄、馬堀石原信弥、十区桑原平治（以上浦原ガスKK）、十三区藤田太七（丸善精機工業KK）十三区山口栄一（新潟交通KK巻出張所）、河井深沢忠弥（宮島鉄工所）漆山品田初枝（花岡製瓦工場）、漆山佐藤岩男（KK田辺組）

――同一職場に二十年以上つとめ勤務成績優秀な人――

◇納税優良

二区国島晴雄（五年間）七区田村常一、十一区福田幸二郎、十二区佐藤利一郎（以上十年間）

――納税成績が五年間または十年間優秀な人――

◇行政功労

稲島敬本間六左ヱ門（民生委員）、五ケ浜吉川三次郎、五ケ浜遠藤喜一、松野尾浦組山賀藤右ヱ門（以上固定資産評価補助員）、新保市橋勝、二区阿部太七（町職員）

――多年、自治振興に寄与された人――

納税優良は四人

人――

「新成人者講座」前、後期に分け

合宿制でミッチリ

巻町・潟東村教育委員会では、両町村の新成人者六百三十人を対象に「新成人者講座」を越前浜の県立青少年研修センターで、前期十一月二十一日、二十二日後期十一月五日、六日開設します。

講座の特色は、合宿制をとり四日間ミッチリ「新成人自ら社会的使命を自覚し公民の権利と義務を遂行する決意をうながし、よりよき社会人として飛躍してもらおう」と密度の濃い講義が組まれています。

講義内容は次のとおりです。「成人の意義」新潟南高校校長池政栄、「科学と青年」新潟大学工学部教授小林宇五郎、「青年期の心理」新潟大学教育学部教授斎藤和代、「青年と生活設計」県立女子短大教授浅妻康二、「政治と選挙」新潟日報論説委員中村海八郎、「町・村づくりと青年の役割」巻町長江端一郎、潟東村長小泉元。

巻町、前、後期通しての受講者に修了証を授与。新成人講座受講希望者は十一月二十日までに公民館か教育委員会に申し込んでください。参加費の一千円（前、後期いずれかの場合五百円）は十一月二十一日会場受け付けで納めてください。

文字のアルバム「はたちの記録」原稿募集

今年度も、毎年成人式で好評をいただいている文字のアルバム「はたちの記録」を発行することになり、公民館では新成人者から十一月三十日締め切りで原稿を募集しています。

原稿は「社会に望む」、「成人になって思うこと」「人生について」、「新成人講座レポート」、「詩・短歌・俳句」その他なんでも結構ですから、どしどしご応募ください。

柿団地造成、順調に進む

農家待望の第一回植栽

農家待望の角田山ろく柿団地の第1回植栽が10月26日行なわれた

昭和四十三年度から四か年継続事業で角田山ろくを二百二（ヘクタール）の柿団地に造成。もうかる農業めざす県営角田山ろく開拓パイロット事業が着工以来順調に進み、越王柿栽培組合では喜びの第一回八珍柿植栽作業を十月二十三日から二十九日まで行ないました。

米プラスアルファに柿

県営角田山ろく開拓パイロット事業施工地域は南北三・五キロメートル、東西三・二キロメートル。同地域は元来、林業の生産性が低く、しかも平均耕作も小規模。農家の自立経営が極めて困難な状態でした。

昭和四十年二月。米プラスアルファで農業所得の安定を望む角田山ろく農家は角田山ろくに八珍柿の大団地構想を決めました。

四か年で三億二千万円投入

同パイロット事業は四か年度で総工費三億二千二百七十九万円の巨額が投入され、柿団地二百二（ヘクタール）、幅員四メートルの幹線道路延べ六千五百八十五メートル、幅員三・五メートルの支線道路延べ九千八百一メートル、防風林延べ五千三百三十メートル、防除施設などが造られます。

五年後、反収十三万円

最初に土壌改良の終わった仁箇工区十二・七（ヘクタール）に伏部地区で育苗されていた八珍柿苗木を、十アール当たり四十三本を縦三メートル、横七メートルの間隔で植栽しました。

三年樹の苗木は平均八十センチメートルに伸びており、今年度分五千四百六十一本を越王柿栽培組合（仮称・組合員二百二十六人、代表石田平吉さん）の手で十月二十三日から二十九日まで植栽が行なわれました。

八珍柿は植栽後五、六年で永久樹十六本から十アール当たり二千五百キログラムの収穫が見込まれ、十二万五千円が栽培農家のフトコロに入る勘定となります。

町豚共進会

肉豚の部に柳沢さん一位

町豚共進会が十一月二日午前八時三十分から、第一部種豚は巻農高、第二部肉豚は場で開かれました。

各畜協管内から選抜された種豚十三頭、肉豚十二頭が家畜保健所技師らの審査を受けました。

当日の成績は次のとおりでした。

第一部種豚

未経産

一位　斎藤　鯱布　目
二位　小出二三　松野尾　二位　岸本　主　仁　箇
三位　大山　信幸　福　井　三位　高橋善太郎　仁　箇
三位　斎藤　久男　馬　堀　三位　小林　等　松野尾
三位　石田喜三平　角田浜

経産

一位　岡村　一彦　仁　箇
二位　渋谷　清　馬　堀
三位　山本三二郎　松野尾

第二部肉豚

一位　柳沢　二郎　松　山
二位　五十嵐一男　馬　堀

18日、臨時議会

臨時町議会が十一月十八日開かれます。当日提出される議案は、昭和四十五年度補正予算について、他。

川は泣いている

汚水の排出は届出を

河川をいつもきれいに保つため河川法の一部が次のように変わりましたので、ご協力ください。

河川区域内に
ごみ、ふん尿、
犬、猫、鳥などの死体その他汚物、廃物を捨てると法律の定めるところにより前せられることになりましたので、絶対に捨てないようにしましょう。

一、二級河川（西川、矢川、飛落川、大通川、広通江）に一日五十立方メートルの汚水を排出しようとする者は、河川管理者の新潟県知事にそのむねの届け出をしなければなりません。

くわしいことの問い合わせは巻土木事務所管理係か役場建設課に。

「映画と講演の夕べ」

原子力の理解深める

町では、十月二十六日「原子力の日」日本大学崎川範行教授を招き、夜巻小学校体育館で「映画と講演の夕べ」を開き、町民から原子力の平和利用について理解を深めていただきました。

なお、これに先だち、昼公民館で議会議員、原子力平和利用調査委員、漁業関係者を招き、同じ催しを行ないました。

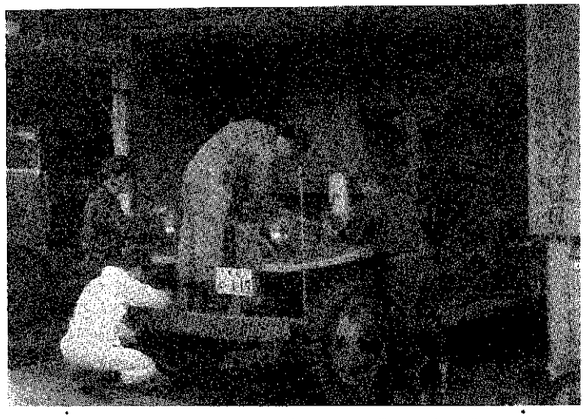
公民館に消費者コーナー

一度、見学を

県消費者協会巻支部ではこの程公民館一階会議室に「町民からかしこい消費者になってもらおう」と消費者コーナーを設置しました。

「このコーナーはだれのものでもない消費者自身のためにつくったものです。かしこい消費者となるために、買いものの上手になるために、豊かな消費生活を築くために、利用いただけば幸いです。」と書かれた案内パネルをトップに、消費者から最低この程度は知っていて欲しい知識「消費者四つの権利とは？」、「品質表示を見て買いましょう」、「風袋は正味量に含まれません」、「こんな業者は危険です」などを、十八枚のパネルに掲示、わかりやすく解説しています。また、商品見本の陳列ケースを置き、良い商品表示、悪い商品マークなども展示しています。

また、毎週木曜日午前十時から午後三時まで消費者苦情の窓口として藤田消費生活コンサルタントが公民館に待機しています。お気軽にご利用ください。



出動に備えて　火災発生時の出動に備えて，消防自動車の整備は署員に欠かせないしごと。整備作業も入念に行なわれる。

火災発生　2月22日未明，8区中心街に火災発生。けたたましいサイレンの音が交錯する。非番の署員も非常招集され，延焼をくい止めるためズブぬれになりながら必死の消火作業が，鎮火するまで続けられる。

守備範囲広い消防署

町民の生命、財産守る

24時間、常に出動体制

「町民の生命と財産を守る」ことを大きな任務とする町消防署。しごとの守備範囲は，予防消防，消火活動，救急活動，人命救護などときわめて広い。市橋署長以下21人が2交代で，この業務にあたっています。

11月26日から，秋季火災予防週間が始まる。本号では，24時間出動体制にある消防署の横顔を写真で紹介します。

建築中の現場に足を運び，消防法に定められている火災報知器，非常口などの設備がなされているか調べたうえ，責任者と話し合い，人命救護を第一に悪いところは改善してもらう。

対　話

火の用心

消防署への電話

火災，救急	119
一般用務	2—3309

水利を確保　消火活動に不可欠の水利をいつも確保しておくため，防火用水路の巡回が毎日繰り返される。心ない人が捨てたごみが水の流れをさえぎり，それを境に水位が逆ろう。署員のごみ上げ作業がいつになったら終止符を打つのだろうか。

仮　眠　午後九時。いつでも飛び出せる服装のまま，職員は仮眠にはいる。しかし，いったん非常ベルが鳴れば，楽しい夢もそこでおしまい。

望の楼階へ段　夜のとばりがすっぽり町を包む。午後八時。署員が望楼への階段を昇る。高さ二十八メートルの望楼から火災発見の監視が始まる。だが，近年，高層建築の出現による死角や電話の普及で，火災発見がますます困難となっている。

成果収めた上ン原遺跡

三千年前の住居址発見

角田山ろく開拓パイロット地区内の貴重遺跡としてさる十月五日から調査をはじめた竹野町の上ん原（うわんば）遺跡発掘調査は成果を収めて十月二十五日に発掘を終わりました。

発掘の結果，四か所と推定される住居址（柱穴、炉跡）埋葬跡，食物貯蔵穴跡などの付属遺構，石鏃，石斧，石皿などの石器や土器のほか，土偶一，飾玉一，その他人骨などの遺物が豊富に発掘採取されました。

同期の遺跡としては近くに黒埼村の的場遺跡があるが，蒲原地方一帯において角田山ろくの丘陵地という立地条件にめぐまれ，保存がきわめて良好で，しかも他の年代の遺跡が複合していない単純遺跡であることは珍しく，学術的に今後の研究成果が期待されます。

なお，調査期間中は天候にめぐまれ，調査員を中心に地元から応援してくれた人のほかに，巻史学会員，巻農業高校生徒など，町内外の有志協力者が参加して発掘や測量に当たりました。また，連日多ぜいの見学者でにぎわいました。

調査結果のくわしいことの発表は，今後遺跡実測図，遺物の整理をまって報告書にまとめられます。

とりあえず十一月二十六日夜，巻町公民館で，調査団長の上原甲子郎さんの中間報告会があります。お誘い合わせのうえ，ご臨席ください。

学術的に貴重な四つの住居址が発掘された上ン原遺跡

巻地区は都市化現象

—国勢調査速報—

町は，このほど実施した昭和四十五年国勢調査の人口，世帯を各地区別の速報として次のとおり，まとめました。

それによりますと人口では，前回の国勢調査時よりも三百六人の減となり，世帯は二百八十八世帯の増となりました。

各地区別に人口をみますと，別表比較のとおり巻地区を除く各地区ともやや減少しておりますが，ただ五部落（葉萱場・中郷屋・割前・東法上・羽田）は増となっております。

これは，葉萱場部落に住宅団地ができたための増加数字となります。今回の調査に多大のご協力をいただきました町民，調査員のみなさんに感謝申し上げます。

また，巻地区の人口，世帯増加は，いわゆる都市化現象が着実に進んでいることと，堀山団地の造成によるもの等が考えられます。

人口の減少は，若年層の大学進学，就職などの都会流出によるもの。ただ，近年地元企業への就職などがふえ，人口の減り方もひところのように激しくなく，定着傾向にあります。

なお，ここに持ちいました数字は概数で，後に国が発表するものが国勢調査の数字とはなりません。

地区別世帯・人口数比較表　（昭40・昭45）

地区別	世帯数 昭45	世帯数 昭40	増減	人口 昭45	人口 昭40	増減
	世帯	世帯	世帯	人	人	人
総数	6,091	5,803	288	27,139	27,445	△ 306
巻	3,270	2,960	310	13,517	13,024	493
漆山	868	879	△ 11	4,467	4,765	△ 298
峰岡	756	771	△ 15	3,702	3,908	△ 206
角田	540	560	△ 20	2,254	2,431	△ 177
松野尾	402	391	11	2,002	2,106	△ 104
浦浜	77	93	△ 16	229	311	△ 82
五部落	128	101	27	668	589	79
二部落	50	48	2	300	311	△ 11

△はマイナス（昭45年の数字は概数）

緑の会走り出す

夢大きく、町を緑で美化

「緑を育て，土に親しむ運動を推進し，町民の生活環境を豊かにしよう」と巻町緑と土に親しむ会（略称緑の会）が誕生しました。

かねてから世話人が会員を募集中でしたが，金町から二百二十六人の入会申し込みがあり，大きな会となりました。

十月二十四日得雲荘で開かれた発会式に七十人が出席，藤田三一さんの座長で規約審議，役員選出などを行ないました。そして会長に上原金七さん（竹野町）、副会長大橋栄作さん（仁箇）本田春吉さん（馬場）、笠原俊弐さん（一区）の新役員を選びました。

同会は今後の事業として苗木種子のあっせん，出生結婚の記念樹，公共施設の緑化，庭木，盆栽の観賞展示と手入れ指導などを計画しています。

正しい自転車の乗り方

ハッキリ、右左折合図を

交通法規を知らなくとも簡単に乗れ，ドライバー泣かせの一つに数えられている自転車乗り。自転車で直進中あいずもしないで急に右折，後続の自動車に追突される事故がアトをたちません。

自転車の正しい乗り方を身につけ交通事故の犠牲にならないようにつとめましょう。

一、左側端の一列進行をしましょう。

二、右，左折時における合図を必ずしましょう。

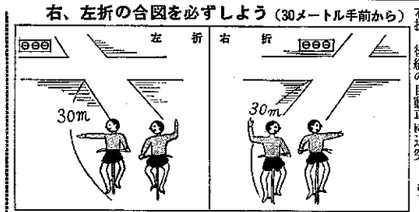
三、右，左折時における後方の安全確認をやりましょう。

四、右折時は右大まわりなどを励行しましょう。

五、反射器（反射性テープ），前照灯は整備されており，その役目を果たしますか？。

六、ブレーキ，ベルなども整備しておきましょう。

右、左折の合図を必ずしよう（30メートル手前から）



住宅改良資金に余裕

住宅金融公庫

住宅金融公庫住宅改良資金の申し込み期間が十一月三十日まで延期になりました。

借り入れ希望者の方で，まだ申し込んでいない人は至急手続きをしてください。くわしいことは，役場建設課に問い合わせください。

漆小、喜びのピアノ開き

新進ピアニスト木口玲子さん招く

町立漆山小学校（若林栄一校長）では，さる十月二十二日待望のピアノ開きを行ないました。

来賓の高野助役，丸山教育長が「この新しいピアノをよりどころにして心を豊かにしてください」と祝辞を述べました。

こけら落しに招かれた新進ピアニスト木口玲子さん（国立音楽大学出身）のモーツアルト作曲「ソナタハ長調一五四五」の格調高い演奏が始まると児童は真剣に聞き入りました。

このあと，賛助出演の漆山中学校のおにいさん，おねえさんたちといっしょに

木口さんのピアノ演奏に耳を傾ける漆山小児童

町民短歌会

（秀逸作品）

もみぢ濃き丘のぼりゆく人見えて　心まどへり独りの旅路　内山　美雄

時雨して夕日うすれし丘の家　障子にうつる干柿の家　古俣　信子

あしびきのいやひこ山に入る月に　たがやしおいていそぐ畔路　本間　梧葉

遮断機の前過ぎゆきし貨車のあと　歓めきたる匂ひ残せり　竹野　植一

立ち枯れの旗に鳥きて陽の没らむ　沼ひとところ夕明りして　渡辺　常市

漆中体育館

12月完成

さる，八月六日着工した町立漆山中学校の体育館新築工事が十二月十日完成めざし，急ピッチで進められています。

新築中の体育館は鉄骨造りで，床面積は延べ七百三十七平方メートルで一階は六百八十二平方メートル，二階はギャラリー五十五・三七平方メートルとなります。完成後は，現有体育館の一・五倍の広さとなり，体育授業に大きなプラスが期待されます。総工費二千四百八十五万円。

町民のこえ

得雲荘の利用方法

私は老人で余生を静かに送っているものです。

昨年町ぐるみの親孝行で環境の良いところに立派な老人ハイムの家得雲荘を造ってくださり，今年はその隅りに小部屋を増築してくださったことを聞いていますが，私も数人の友人と近く得雲荘に一日のんびり過ごしたいと計画しています。

得雲荘の利用方法について，お聞かせください。

（十三区　一老人）

お答え

申し込みは七日前に

得雲荘は町内外からの暖かい善意で造られた施設です。昨年十月オープン以来一万五百八十二人（十月末現在）が利用されたいへん喜ばれています。

得雲荘の利用は，町の六十歳以上のおとしよりおよび保護人のほか，すいている日なら年齢を問わず広く一般町民のみなさんにも開放いたします。

申し込みは利用する日の七日前に得雲荘（電話二局二五八八）か役場厚生課（電話二局三一三三）にしてください。

利用料は町内の老人一人七十円，団体（統率者のいる十五人以上）六十円，その他一人百二十円団体百円。得雲荘の休日は毎週月曜日。利用時間は十一月一日から三月三十一日まで午前九時から午後四時まで。

町社会福祉協議会の手で得雲荘の運営管理を行なっています。

そのほか，わからない点は得雲荘か役場厚生課に問い合わせてください。

（厚生課）

町立病院の診療日程

科目	診療日	担当医師	科目	診療日	担当医師
内科	毎日	鎌波，松浦，今井，本間	眼科	火，金曜日（午前）	小川
小児科	毎日	田中	泌尿器科	火，金曜日（午前）	関根
外科	毎日	今井	脳外科	火曜日（午後）	本田
整形外科	毎日	竹前	神経内科	火曜日（午前）	星
皮膚科	毎日	五十嵐	産婦人科	当分休診	

ゆうあい号来町

保存血液が不足しています。あなたの健康な血液を提供してくれませんか。

とき　11月30日（10.00～15.00）

ところ　立正佼成会巻支部（あたご福祉）

か26日から

火災予防運動

わが家の防火点検を

十一月二十六日から十二月一日まで全国いっせいに秋季火災予防運動がくりひろげられます。

この時期になるとからしが吹き、気温がどんどん下がり各家庭でも火気を取り扱う機会が多くなるため、火災多発期にもなります。

「あぶない　消し忘れ　切り忘れ」。町民ひとりひとりが防火意識を高め、火災の発生防止と人命事故の絶滅を期しましょう。

なお、予防運動の期間中毎日午後七時に警鐘を●●―●●●●―一点打します。また、各家庭でも次のことを実行、予防運動に参加してください。

一、わが家の防火点検

イ、暖房器具は正しく使いましょう。

ロ、外出する時、寝る時にはたばこ、ガス、電気など火の元をよく確かめましょう。

ハ、運動能力の低い老人病人、判断力の弱いこどもたちは火災のとき少しでも早く安全な場所に避難できるよう、出入口の近くに寝かせましょう。

ニ、わが家の避難訓練をやりましょう。

ホ、カマド、ふろ場のニンソトはだいじょうぶか。

二、たばこの投げ捨てと寝たばこの防止

イ、たかがたばこの火だとバカにするのはやめましょう。

灯油の保管は安全に

百リットル以上、消防署へ届出を

危険物の保管は安全に。冬期間はどこの家庭でも石油ストーブを使うため、灯油を貯蔵します。しかも、規定量（五百リットル）以上を貯蔵している家庭が昨年の巡回指導で多くみられました。

灯油は百リットル以上五百リットルまでは消防署に届け出をしなければ貯蔵できないことに、町火災予防条例に定められています。

また、五百リットル（ドラム缶二本半）以上の貯蔵は消防法により申請、許可を受けなければなりません。なお許可後、貯蔵庫（不燃材料）の設置が義務づけられます。

灯油の貯蔵は建て物から二メートル四方くらいの空き地に、消火器（十型一本）または、乾燥した砂をりんご箱に二箱（スコップ付）備えてください。

消防署にまだ届け出をしていない家庭は、至急手続きをし、安全な場所へ保管してください。

農業の道しるべ

家族こそ理解者

西村欣策

巻農協で、「婦人学級」の討論会を開いた。

「農村生活に望む」という標題であったが、四人の「パネルマン」は、それぞれの立場で、新しい農村生活のあり方について、意見を発表した。

ところが、農家の問題解決のだいじな点は、「家族の中の話し合いだ」ということに集約されたようだ。

この話し合いがなされないために、農業の生産もうまくないし、生活もうまくゆかない。

「おやじさんの苦しみが、はっきりわかれば、むりなんか言わないんだ」という若い人たちの話も出て、「物わかりがよい」ことに感心した。

ただ一年中働いていても、どうなっているのか、家庭の経済なんてわからないから、「こんなに働いているんだから…」、という気持が先に出て、ついむりをいうことになるんでないか、と結論づけられた。

そこでみんなが、安心して、一家の現状が話し合えたらよいんだが、ということになった。

家の中で、チグハグな考えや行動でしのげる農業時代でないからである。「こんな苦しさを、家族になんか聞かせたくない」などとみえを張って通せる時代でもないし、「こんなにたくさんあるお金を、家族に聞かせたら、むだ使いするかも知れない」などという時代でもない。

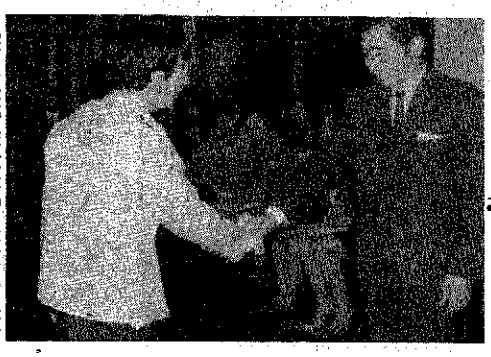
もしも、苦しい状況ならば、家族の協力を、いち早く得ることこそ、その対策が早くできて、きびしい情況を克服できるのだと考えられる。

「苦しみなんて、誰かに話をしただけでも楽になる」、いわんや家族の協力者に話をすることは、何とすがすがしいことだろう。

「おやじの話を聞いて、協力しない無理解な家族なんているわけはない」このことを家庭の柱として、新しい農家を作るべきであろう。

ようこそ波崎町青年

青年交換研修　農業、結婚に話題集中



受け入れ式でお互いに「よろしく」と握手

十一月二日～四日の三日間、茨城県鹿島郡波崎町青年のみなさん二十六人が、巻町・潟東村青年との交歓研修会のため来町しました。これは、さる十月、巻町・潟東村の青年たちが波崎町を訪れたのにこたえたもの。

波崎町は茨城県の最南端に位置し、工業港で知られる鹿島港を隣りに控え、特に農業の面で大きな影響を受けている町です。

松野尾、竹野町、巻地区、潟東村などに民泊し、潟東村内、農業教育センター、県立青少年研修センター、角田山ろく柿団地などの見学や、話し合いなどを中心に交歓研修会がもたれました。

話し合いでは農業の問題や青年のグループの問題、そして結婚の問題などが大きくとりあげられました。最後にあすの地域をになう青年としてお互いにがんばろうと誓い合いました。

この研修会はいろいろな面で大きな成果をおさめ、四日朝、仲よしになった町青年たちと別れを惜しみながら波崎町青年のみなさんは帰途につきました。

うぶごえ　（10月中届け出）

名まえ	保護者	生れた日	住所
信輝	得雄	9・19	馬堀上組
二彦	優	9・22	4団地
一郎	一	9・22	堀山区
秋雄	忠男	9・23	松野尾
英紀	栄英	9・23	3区
光真	義也	9・24	1尾
義祐	正平	9・24	松野区
仁雄	鉄昌	9・28	11地
二郎	誠一	9・28	堀山団
美尚	勝	9・30	赤さ
也二	彰	9・30	四ッ郷屋
則子	健一	10・2	竹野町
伸樹	仁治	10・4	漆山8
一郎	三雄	10・4	4区
剛	一	10・4	9区
美	幸雄	10・6	13区
尚	博郎	10・7	松山新田
忍	俊雄	10・9	7区
也	清生	10・9	3木
二	智郎	10・9	鷲ノ郷屋
則	孝	10・9	四区
子	雄	10・12	6岡
伸	一	10・13	絲浜
一	厳	10・15	越前
郎	信夫	10・15	10区
美	勝也	10・15	西組
尚	淳	10・15	下区
忍	司	10・19	4山
也	実	10・20	漆1
二	勝男	10・20	東6

おくやみ　（10月中届け出）

氏名	年齢	死亡日	住所
マ	84	9・30	越前浜
タ	79	10・4	仁漆山5区
平	84	10・4	4仁
セ	53	10・5	鷲ノ
シ	83	10・6	稲木
知	37	10・8	稲島
明	0	10・8	稲島
郎	70	10・9	竹野田
ヨ	80	10・10	角野浜
セ	76	10・15	大原新田
イ	87	10・17	河井
ケ	56	10・17	四ッ郷屋
美	0	10・19	4区
徳	63	10・23	柿島
三	58	10・23	仁島
庄	62	10・26	10区
金一	35	10・26	10区
治郎	60	10・30	10区
栄郎	55	10・31	10区

予防接種事故に救済制度

予防接種による事故の救済については、現在、国で検討が進められていますが、とりあえず、当面の行政措置として国、県、市町村が次の方法で救済を行なうことになりました。

◎対象予防接種

1、予防接種法にもとづいて行なわれた定期臨時の予防接種。

2、昭和三十七年度から実施のインフルエンザ特別対策実施要領および昭和四十二年度から実施された日本脳炎特別対策実施要領にもとづく予防接種。

3、結核予防法にもとづく定期、定期外の予防接種（BCG）等。

◎救済の方法

1、医療費　予防接種の副反応（通常生ずる副反応を除く）と認められる疾病で現に医療を必要とする人に支給されます。

2、後遺症一時金　予防接種の副反応と認められる疾病に起因する後遺症を有している人に支給されます。

3、弔慰金　予防接種の副反応と認められる疾病により死亡した人の遺族に支給されます。

◎申請手続き

役場保険衛生課にご相談ください。

寒がりやの水道管

凍結防止の保温早めに

間もなくきびしい冬将軍がやってきます。水道管は非常に寒がりやです。備えあればうれいなし。今から保温を十分やり、凍結や破裂を防ぎましょう。水道管に布やフィルト繃などをまき、その上に保温材がぬれないようビニールテープなどをまき、保温します。

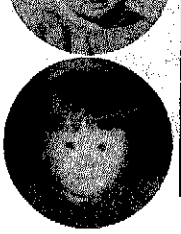
むき出し、家の外、北側、風当たりの強い水道管は、すぐ機能になります。

また、じゃ口が故障した時や、管が破裂したときなど修理するまでの間、水を一時止めることができる丙止水栓をつけましょう。丙止水栓はメーターの箱の中に取り付けるもので簡単に水を止めることができる便利な装置です。最近、水道工事をされた家は全部取り付けてあります。

丙止水栓取り付けは巻町公認水道工事店へお申し出ください。

赤ちゃん登場

次代は引き受けた　健やかに育て



☆ぼくのなまえ　長谷川健一（けんいち）

☆生年月日　四十四年八月十八日

☆住所　栄町

☆両親のなまえ　賢一郎（父）、正子（母）

☆続柄　長男

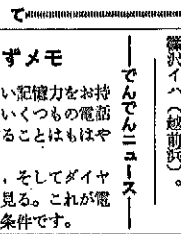
☆名づけ親　父

☆なまえの由来　父親のなまえにあやかり健康で育つように。

☆愛称　ケン坊

☆好物　バナナ、くだもの

係から　お宅の赤ちゃん（一歳～二歳）を紹介させてください



☆わたくしのなまえ　大瀧美和子（みわこ）

☆生年月日　四十四年八月九日

☆住所　八区

☆両親のなまえ　誠（父）、チエ子（母）

☆続柄　三女

☆名づけ親　父

☆なまえの由来　心身ともに美しく育ち、三人の和を計るように。

☆愛称　みわ

☆好物　アメ玉、塩せんべい

郵政省、米寿祝い

六人に金盃

郵政省は、今年めでたく米寿（八十八歳）を迎えた人に対して、郵政大臣のあいさつ状に記念品金盃をそえて贈りました。これは、長寿をお祝いするとともに簡易保険にご協力くださったことへの感謝の気持をあらわすためのもので、町の該当者名は次のとおりです。

長谷川キサ（一区）、長倉キヨ（越前浜）、幸田音吉（十一区）、石塚スキ（割前）、畑内セキ（絲岡）、鍋沢イハ（越前浜）。

編集後記

広報も四十一年二月、町民の茶の間に仲間入りして以来、三ケタの数に達しました。

この間、町民と町を結ぶパイプ役の使命を持つ広報紙づくりに努力してきました。しかし、読者の町民のみなさんにご満足いただけたかと考えるとき、残念ながら自信ありません。今後ともよろしくご指導の程を。

得雲荘に石像寄贈

一区　永井福松さん

一区永井コンクリート工業永井福松さんはこのほど得雲荘の前庭に、石像のほてい像一、雪見燈ろう一、つる二を寄贈されました。どうもありがとうございました。

―巻電報電話局―

番号は必ずメモ

いくらすばらしい記憶力をお持ちのあなたでも、いくつもの電話番号を全部暗記することはもはや不可能です。

番号は必ずメモ、そしてダイヤルの際にはメモを見る。これが電話じょうずの第一条件です。

―でんでんニュース―